


# 管内市町村の概要

## 留萌市 るもいし




面積	297.84km <sup>2</sup>
人口	22,137人
市町村名の由来	アイヌ語「ルルモツベ」(静かなる川)

**概況** 留萌管内の行政・経済の中心都市です。かつてニシン漁で栄え、現在は塩カズノコの加工が全国の生産量の約半分を占めています。留萌沿岸の激しい波浪は「世界三大波瀾」の一つといわれています。

**特産品** 塩カズノコ、うるち米、鯨の親子漬、たらこ、鯨そば

**主な風土資産** 黄金岬、留萌川、るもっぺ憩いの森、神居岩温泉、海のふるさと館

## 増毛町 ましけちょう




面積	369.71km <sup>2</sup>
人口	4,606人
市町村名の由来	アイヌ語「マシユキニ」(カモメの多いところ)

**概況** 幕末の北方警備や交易の要所として栄え、かつて管内の行政・経済の中心地だったこともあり、歴史的建造物が数多く残っています。現在は、温暖な気候を利用した果樹栽培が盛んであり、道内最古にして、最北の造り酒屋を持つ町です。

**特産品** たこのやわらか煮、さくらんぼ、りんご、国稀(清酒)、甘えび

**主な風土資産** 碧寒別岳、増毛リンゴ、旧高屋丸一本間家、増毛山道、増毛厳島神社

## 小平町 おびらちょう



面積	627.22km <sup>2</sup>
人口	3,254人
市町村名の由来	アイヌ語「オビラウシベツ」(川口に崖のあるところ)

**概況** かつてニシン漁で栄えた名残を今に伝える国の重要文化財「旧花田家番屋」で有名な町です。現在は黒毛和牛の「小平牛」の生産に力を入れています。

**特産品** たて燻製、うに低塩一夜漬、活ホタテ貝、メロン、黒毛和牛

**主な風土資産** 小平薬川、光明石温泉「ゆつたりかん」、鯨番屋(旧花田家番屋)、天狗の滝

## 苫前町 とままえちょう




面積	454.60km <sup>2</sup>
人口	3,246人
市町村名の由来	アイヌ語「トマオマイ」(エゾエンゴサクのあるところ)

**概況** 日本海オロロンラインのほぼ中間点に位置しており、日本海から吹き付ける強い風を利用した風力発電、風あげ大会が有名な町です。基幹産業は農業・漁業です。

**特産品** 糠鯨、スイートコーン、メロン、甘えび、たこ

**主な風土資産** ローソク岩、上平グリーンヒルウインドファーム、岩見の一本松、三毛別熊事件跡地

## 羽幌町 はぼろちょう




面積	472.65km <sup>2</sup> (天売5.47km <sup>2</sup> )(焼尻5.19km <sup>2</sup> )
人口	7,322人(天売 323人)(焼尻 208人)
市町村名の由来	アイヌ語「ハボロベツ」(流れる広大な川)

**概況** 天売島と焼尻島という二つの離島を持つ町で、基幹産業は農業・漁業です。天売島は海鳥の宝庫で、何十万羽というウトウがこの島に生息しています。また、焼尻島の羊(サフォーク)は高級食材として、珍重されています。

**特産品** サフォーク、甘えび、たこ、メロン、ねばり長いも

**主な風土資産** 天売島の海鳥繁殖地、焼尻オノコの荘、はぼろバラ園、羽幌炭鉱、北海道海鳥センター

## 初山別村 しょさんべつむら




面積	279.51km <sup>2</sup>
人口	1,235人
市町村名の由来	アイヌ語「ソエサンベツ」(海がそこで流れ出ている川)

**概況** 管内のほぼ中央に位置し、みさき台公園には村のシンボルとして「しょさんべつ天文台」があります。豊かな自然と美しい景観に恵まれた村です。

**特産品** ほしおこし、真ふく、「飲む」みりん

**主な風土資産** 金比羅峠、しょさんべつ温泉・岬の湯、しょさんべつ天文台、しょさんべつ海牛の化石

## 遠別町 えんべつちょう




面積	590.80km <sup>2</sup>
人口	2,781人
市町村名の由来	アイヌ語「ウイエツ」(相語る川)

**概況** 基幹産業は農業・漁業で、稲作(もち米)の北限でもあります。日本海オロロンラインは、この町に入ると沿岸風景から一転して、牧畜風景が広がります。

**特産品** もち米、ひらめ、ホタテ加工品、北吹雪(純米酒)

**主な風土資産** 金浦原生花園、ルベシの大山松、旭温泉、遠別水稲発祥地の碑、北浜遺跡

## 天塩町 てしおちょう



面積	353.56km <sup>2</sup>
人口	3,208人
市町村名の由来	アイヌ語「テシュ」(築・ヤナ:魚を獲る仕掛け)

**概況** 天塩川の河口に位置している町で、基幹産業は酪農と漁業です。酪農では環境整備に力を入れ、良質乳の生産向上に努めています。漁業では天塩の大きなしじみ貝は有名です。

**特産品** しじみ貝、てしおキムチ、てしおChuChuプリン、手づくりチーズ

**主な風土資産** 天塩川、天塩のシジミ貝、鏡沼海浜公園、てしおこもればの森、川口遺跡

## 幌延町 ほろのべちょう



面積	574.10km <sup>2</sup>
人口	2,424人
市町村名の由来	アイヌ語「ポロヌフ」(大平原)

**概況** サロベツ原野の南端で、北緯45度線が横断する酪農の町です。トナカイ観光牧場では、幻の青いケシを見ることが出来ます。

**特産品** 合鴨の燻製、トナカイ肉の加工品

**主な風土資産** サロベツ原野、幌延町トナカイ観光牧場、幌延ビジターセンター、パンケ沼

面積は平成29年10月1日現在全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院調べ)、人口は平成29年1月1日現在住民基本台帳人口(北海道総合政策部地域行政局市町村課調べ)

## 新たな北海道総合開発計画

～世界水準の価値創造空間を目指して～

## 目指すは「世界の北海道」

～新たな北海道総合開発計画を推進します～

### これからの北海道の戦略

#### 「食」観光が戦略的産業

- 人口減少時代にあっても、
- ① 北海道には世界と競争し得るポテンシャル
- ② アジアなど世界の市場が拡大傾向

農林水産業、観光等を担う「生産空間」を支え、「世界の北海道」を目指します

### 次の10年(新計画)の重点的取組

- (1) 交通ネットワーク強化と重層的な機能分担
- (2) 農林水産業の競争力・付加価値向上
- (3) 世界水準の観光地域づくり
- (4) 地域づくり人材の発掘・育成

北海道総合開発計画(北海道開発局ホームページ)  
<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/u23dsn000000fqs.html>

